



KFC News

Kobe Foreigners Friendship Center NEWS LETTER

2023. 3. 17

No. 173

法人本部 〒653-0038 神戸市長田区若松町 4-4-10 アスタクエスタ北棟 502

TEL : 078-612-2402 FAX : 078-612-3052 E-mail kfc@social-b.net

デイサービスセンター ハナの会 TEL / FAX : 078-612-2408

グループホーム・小規模多機能型居宅介護ハナ TEL : 078-798-5475・4 FAX : 078-798-5476

ハナ介護サービス TEL : (居宅) 078-646-8671 (訪問) 078-646-8670 FAX : 078-612-3052

ふたば国際プラザ TEL : 078-747-0280 FAX : 078-747-0290

Kobe Foreigners Friendship Center NEWS LETTER

就学前の子どものプレスクール



昨年度から、神視保育園と多文化子ども共育センター (Moi) の2か所で、就学前の子どものプレスクールを実施しています。

今年度も元小学校教員のお二人の方に講師を務めていただき、学校で使用する言葉、ひらがな、10 ぐらいまでの数字を学習し、語彙を増やすことや自分の名前をひらがなで書けるようにすることなどを目標に、授業を進めていただいています。

保育園は7名、Moiの方は11名の中国、ウクライナ、ベトナム、ミャンマー、インドネシア、ブラジル、韓国などのルーツの子どもが参加しています。

在日年数が様々であることなどから、毎年、授業の雰囲気や進み具合が違います。日本生まれで、ペラペラ日本語で話をしているから大丈夫だろうと思っても、なかなかひらがなの文字と音とを一致させられない子が複数いたり、落ち着きがないから大丈夫かなあと思っていたら、ひらがなをさっと覚えることができる子がいたり、一人ひとりをしっかり見る必要性を改めて感じています。

今回は、渡日まもないため日本語がほとんどわからないウクライナ避難民の子どもが参加していたり、Moiの方は年長だけでなく、年中の子どもも受け入れているので年齢の違う子どももいたり、他の支援者の方の手も借りながら、多様な子どもたちの支援に取り組んでいます。

いろいろな子どもたちがいて大変なこともあります、本当にどの子どももかわいく、びっくりするぐらい目に見えて成長する子どもの様子に、講師の方たちも楽しんで支援してくださっています。

(志岐 良子)

◆ 「紅葉を見に行きましょう」

今年度の水曜日クラス恒例の遠足が11月30日に行われました。今回の行き先は「神戸市森林植物園」です。

このクラスでは、2時間の学習時間のうち、前半の1時間は学習者全体でテーマを決め、その内容について話し合ったり、学習したり、発表したりしています。3か月毎に何をするかをみんなで話し合いますが、その中の定番テーマが「遠足」です。

今年度は、春は「姫路城」夏は「太陽公園(姫路)」、昨年度は「諏訪山公園から修法ヶ原ハイキング」「高取山登山」というように電車、バス、徒歩と毎回交通手段もさまざまです。

遠足のコースを決めるために今回は遠足班を作りました。学習者とボランティアから構成される遠足班です。遠足班はコースを企画する特権が得られ、秋の旅行ということもあり、「紅葉を見に行きましょう」という企画になりました。「六甲山高山植物園」と「神戸市森林植物園」の2コースから、タイムスケジュールや予算をインターネットで調べ、学習者が主体となり、クラス内の意見をまとめ、「神戸市森林植物園」と決めました。

遠足当日は水曜日クラス以外にウクライナクラスの参加もあり、総勢16名のにぎやかな遠足となりました。前日の大雨でかなり落葉していたものの、赤や黄色に紅葉した森林公園の木々はどの木も見事で冬の自然を楽しめました。

ときどき教室を飛び出して行く遠足は、企画段階から話が盛り上がり、いつもより話題が広がります。レジャーシート、上着、神戸電鉄、無料、松ぼっくり、どんぐり、カモ、カモシカ、雨宿り等、遠足へ行くことで覚える言葉も広がります。さて次回の遠足はどこへ行くのでしょうか、今から楽しみです。

(片岡 育子)



◆年末お楽しみ会

私は2021年度に大阪人間科学大学に進学し、福祉の専門職を目指しています。小学生時代にKFCの学習支援を受けていた経験があり、大学生になって子どもの支援をしたいと思い、学習支援のコーディネーターを始めました。小学生時代に支援を受ける側を経験し、今回は支援をする側として実際に携わり、子どもとの関わり方や、どのようにしたら子どもが楽しく過ごせるようにできるか色々不安がありました。

学習支援を始めて2ヶ月以上経ち、当初よりも子どもからの信頼が増し不安が消え、自信を持てるようになりました。周りのコーディネーターの方々に様々なアドバイスをいただき、今では楽しく子どもに学習支援をしています。また子どもたちが成長すると同時に私自身も子どもたちから得られる新たな気づきや成長を感じました。小学生時代に支援を受けた時は、多くの人から褒められ、寄り添ってもらいました。この経験から、勉強が苦手な子どもは多くいますが、私たちが子どもたちの学習意欲を高めるように「褒める」ことが大切であると実感しました。また、子どもたちと関わるにあたって信頼関係を築くことがとても重要であり、そのために子どもの心に寄り添い向き合う姿勢が大事であると実感しました。これからもコーディネーターとして学習支援を精一杯頑張っていきます。そして、子どもにとって居場所となるように支援をしていきます。

12月28日に「年末お楽しみ会」を開催しました。たくさん子どもたちが集まり、工作や様々なゲームやクイズを行いました。工作では色粘土でサンタクロースを製作しました。サンタクロースではなく、雪だるまを作ったりと子どもたちの作る作品はとても個性があり、とても楽しむことが出来ました。

クイズでは「どこの国の料理かあてるクイズ」と「ゴミ分別クイズ」を行いました。日本語がまだ分からない子どもには、通訳者と共にグループで一緒に考えました。どのグループも半分以上正解できて盛り上がりました。次に室内で遊ぶことが出来る「リー

ダー探しゲーム」をしました。最初はルールを理解できなかった子どもがいましたが、ゲームをしていくうちにルールを理解できた子どもが増え、とても盛り上がりました。

最後に、子どもたちがとても楽しみにしていたビンゴ大会を行いました。ビンゴの景品は子どもが大喜びするものを用意しました。抽選機を子どもたちが回したり、抽選機の周りに集まって待っていたりする子どもたちがとても可愛らしかったです。

最後にKFCから個別のプレゼントを渡し、年末のお楽しみ会は終了しました。たくさん子どもたちが喜ぶ姿や、楽しんでいる姿を見てお楽しみ会を開催できてとても良かったと思いました。他の支援者やボランティアの方々のお手伝いがあり、とても助かりました。多くの人と協力があつたからこそ年末のお楽しみ会が良い形で終わったと思います。来年度も子どもたちが楽しめるイベントが開催できたらいいなと強く思います。 (トラン 美佳)

◆調理員スタッフにインタビュー！

鄭賢淑 調理スタッフにインタビューしました。

Q 1) いつ、デイサービスセンターハナの会のスタッフになりましたか？

A 1) 今年の1月に面談して、2月に働き始めました。もう10か月経ちました。

Q 2) どんなところにやり甲斐を感じますか？

A 2) 利用者がごはんを食べて、美味しい、美味しいと言ってくれる時です。
台所まで来て韓国語で「ありがとう」と言ってくれます。また、利用者が楽しくレクリエーションをするのを見て、こちらも楽しくなります。一緒に働くスタッフも温かく、楽しく働いています。

Q 3) 難しいと思うところは、どんなところですか？

A 3) ごはんの味が合わない時です。その都度、利用者の好みを考えて味付けしています。けれど、難しいと思うより、楽しいと思う事が多いです。

Q 4) ハナの会に勤めていて、これまでの印象的な出来事と言えば？

A 4) 毎日11時になると、利用者が体操の時に歌う「我ら人生60から」の歌です。毎日聞いていますが、いつもその歌詞について、考えると「そうか、そういうことか」と思います。それが楽しいです。

Q 5) ところで、いつも明るく振る舞われていますが、普段から心がけていることがありますか？

A 5) いつも楽しむことを忘れずに感謝の気持ちでストレスがたまらないように過ごしています。あと、

人を愛すること。これも大切に思っています。運動も一生懸命して、体の健康管理につとめていますよ。

Q 6) 最後に一言、お願いします。

A 6) 今後も心をこめて利用者のために料理をしていきたいと思えます。よろしくをお願いします。

*インタビューを終えて

鄭賢淑スタッフは、韓国からきた調理員です。日本での暮らしは30年になるそうです。

利用者さんが喜んでくださるように、東山市場に材料を探しに行ったり、手作りのキムチや常備菜を作ったりしてくださいます。利用者さんも心のもった手作り料理をおいしそうに召し上がっています。これからもどうぞよろしくお願いします！

我ら人生60から

<歌詞>

- 1、 我ら人生60から心も体も元気にて
70で迎えに来たならば
ただ今お留守と言いなさい
- 2、 我ら人生60からいつもにこにこ朗らかに
80で迎えに来たならば
まだまだ早いと言いなさい
- 3、 我ら人生60から心も体も元気にて
90で迎えに来たならば
そんなにせくなと言いなさい
- 4、 我ら人生60から心も体も元気にて
100で迎えに来たならば
頃みて行くよと言いなさい

赤い羽根共同募金
助成事業 

ふたば国際プラザ

◆ふたば学舎の畑で大根を収穫しました

ふたば学舎の裏に借りている畑で、昨年秋に帰国者交流会で大根を植えました。年末から「いつ抜くか」「まだまだ」という話を繰り返して、2月28日についに収穫を迎えました。帰国者交流会のメンバーで収穫して、二本ずつ持って帰りました。住宅との間にあるスペースの角地のため日当たりがそれほどいい場所ではなく、土の栄養状態もどうだろうかと思っていましたが、長く待った甲斐があり、葉が青々とした大きな大根ができました。その場で洗って切って味見をすると、辛みがなく甘さがあり、良い仕上がりにになりました。二世の方を中心に管理して下さったおかげで大きな大根が出来て、さすがだなと思いました。農作業は帰国者の皆さんが大変興味関心を持って積極的に関わって頂ける活動なので、今後も引き続き行っていきたいです。

(大石 貴之)

◆いろいろな国のお正月あそびを行いました

1月9日(月)にふたば国際プラザで「いろいろな国のお正月あそび」のイベントを行いました。すごろく、ダルマ落とし、福笑いといった日本の遊びと、韓国の遊びを幼児から大人までの親子連れ39名の方々が楽しみました。自分で切った紙の力士で競うトントン相撲や自分でオリジナルの色を塗ったびゅんびゅんゴマというワークショップを兼ねたブースでは、子どもたちが一生懸命自分の作品を作って遊ぶ姿が見られました。

(大石 貴之)

<ベトナム留学生スタッフの感想>

私はスタッフとして参加しました。開始準備と片付けの作業を手伝い、紙相撲ゲームの班を担当しました。その時の様子は信じられないくらい楽しかったです。私は今回のイベントはふたば国際プラザで初めての活動です。また毎回参加して新しい面白いことを体験したいと思っています。

(グエン フィ イエン)

今後の予定

■就学前の子どものプレスクール事業

1月7日～3月25日(土) 10:30～12:00(全12回)

■ふたば国際プラザ

〇ええとこながた～多文化を楽しもう～

3月26日(日) 14:00～16:00